

平成28年度 定期総会報告

平成28年度定期総会は、去る7月16日(土)午前11時30分から、上野精養軒2階「梅の間」で開催されました。



その後、五明公明理事長が議長に選出され、議事録署名者には笠原榮作理事が指名されました。議事の進行は次のとおりです。

○平成27年度活動報告
卒業生祝賀会は、平成28年3月24日、午後5時30分から、ボアソナード・タワー1階で開催されました。初めての試みとして、企画段階から在学学生の参加を得るようとした結果、シャンパンタワー、エコびよん(ゆるキメントホッピング)、法学部教授とのパネルトーク等の趣向が取り入れられました。

○平成27年度決算報告
大塚孝子財務室長から決算の説明があり、承認されました。続いて、猪山雄治監事から決算書及び財産目録は適正に作成され、かつ記載内容は適正である旨の監査報告がなされ、承認されました。

○閉会
小野瀬敬二副理事長から閉会の辞が述べられ、午前12時頃、閉会となりました。

平成27年度 活動報告

○平成27年度には、一般社団法人法政大学校友会(以下「校友会」と略称します。)の代表議員選挙が実施されました。法学部同窓会では、定数1名のところ、平成27年11月30日の立候補届出締切までに立候補者が齊藤友嘉氏1名に止まりました。

また、例年と同様、卒業生祝賀会は、平成28年3月24日、午後5時30分から、ボアソナード・タワー1階で開催されました。初めての試みとして、企画段階から在学学生の参加を得るようとした結果、シャンパンタワー、エコびよん(ゆるキメントホッピング)、法学部教授とのパネルトーク等の趣向が取り入れられました。

○理事会は、8月を除き、毎月1回開催し(合計11回)、12月の理事会の後は忘年会を実施しました。主な検討課題として、20周年記念事業の企画、準備について協議を開始し、また、寄付講座を開講することについても協議しました。

○常任理事会は、平成27年10月、11月、平成28年1月の3回開催しました。主な検討課題は、理事会と同様です。

○校友会の代表議員の選出については、法学部同窓会を主たるパートナー組織とする校友会の正会員数が80名に達する

○法政大学学部同窓会協議会(以下「協議会」と略称します。)は、平成27年度は、文学部同窓会が幹事同窓会となり、同年度中に4回の理事会が開催され、法学部同窓会からは五明理事長、齊藤事務局長外の方が毎回出席し、校友会との関係性その他の課題について討議しました。

○法学部教授会執行部、学部事務課職員との交流会を、平成27年6月8日

○法律学科学生による「平成27年度ゼミ対抗野球大会」に協賛しました。平成27年6月25日に決勝大会が行われ、優勝した堀井ゼミには賞状と賞金2万円、準優勝した和田ゼミには賞状と賞金1万円、3位の西田ゼミには賞状と賞金5000円を、それぞれ授与しました。

○会報第31号(6月5日発行)、第32号(11月27日発行)を順次発行し、全会員に送付しました。

○東京六大学野球観戦を4月11日(土)の対慶応戦、10月17日(土)の対早稲田戦の2回企画し、実施しました。

会計報告

昨年度決算は、会費収入の大幅な減収により、終身会費基金、特定事業基金とも基金会計への繰り入れができませんでした。

来年度は創立20周年の開設や記念誌の出版も予定されており、みな様からの寄付や記念誌広告の申込をお待ちしています。また会の活動の根幹である会費の納入もよろしく願います。

財務室長 大塚孝子

平成28年度 活動方針

○校友会の代表議員の選出については、法学部同窓会を主たるパートナー組織とする校友会の正会員数が80名に達する

○寄付講座については、平成29年度中の開講を目指して準備を進めたいと考えています。

○広報活動の充実・促進、教授会執行部・学部事務課職員、在学生との交流については、本年度も一層注力して参ります。

創立20周年 記念ページ開設

法学部のページを開設しました。20年間の思い出のシーンと、共に、記念事業の内容、募金のお願ひ、募金の応募手順などを掲載しておりますので、ご参照下さい。

平成28年度予算書 (平成28年4月1日~平成29年3月31日)

I 一般会計

1 収入の部

科目	平成28年度予算			増減(A-C)	備考(予算/決算)
	(A)	(B)	(C)		
会費収入	1,400,000	1,294,000	1,320,000	-120,000	380名/324名
1 年会費	1,400,000	1,294,000	1,320,000	-120,000	380名/324名
2 終身会費	12,000	24,000	12,000	0	3名/2名
3 終身会費収入	160,000	160,000	160,000	0	2名/2名
4 懇親会費	630,000	511,000	630,000	0	90名/73名
小計	2,202,000	1,989,000	2,322,000	-120,000	
その他の収入	300,000	310,000	320,000	-20,000	会報2回
1 広告	300,000	310,000	320,000	-20,000	会報2回
2 寄付金	100,000	149,662	100,000	0	法学部他
3 経理利息	453	451	363	90	定期・普通
4 雑収入	200,000	248,000	200,000	0	総会費ほか
小計	600,453	708,113	620,363	-19,910	
当期収入合計	2,802,453	2,697,113	2,942,363	-139,910	
繰越金	2,023,447	2,140,927	2,140,927	-117,480	
収入合計	4,825,900	4,838,040	5,083,290	-257,390	

2 支出の部

科目	平成28年度予算			増減(A-C)	備考
	(A)	(B)	(C)		
1 会報作成印刷費	301,000	267,408	320,000	-19,000	2面/2発行
2 会報発送費	550,000	494,221	550,000	0	総会案内を含む
3 総会懇親会費	800,000	854,666	800,000	0	会場費・雑礼・印刷
4 卒業生祝賀会費	700,000	568,596	550,000	150,000	698,181円未払い
5 HP印刷費	238,000	228,960	400,000	-162,000	改良・維持費など
6 通信費	100,000	96,445	100,000	0	
7 消耗品費	5,000	18,273	5,000	0	
8 事務用品費	70,000	78,870	70,000	0	
9 その他印刷費	0	0	350,000	-350,000	PR用電子作成
10 交通費	10,000	0	10,000	0	事務局
11 雑費	10,000	5,292	10,000	0	概算手取料
12 企画委員会事業費	10,000	2,971	15,000	-5,000	通信費が主
13 企画委員会事業費	40,000	4,000	40,000	0	学生の招待
14 広報委員会事業費	120,000	40,000	110,000	10,000	セミナー・懇談大会他
15 広報委員会事業費	50,000	16,749	80,000	-30,000	取材費が主
16 青年部委員会事業費	20,000	0	50,000	-30,000	通信費が主
17 渉外費	200,000	138,142	200,000	0	お祝、広告、基金
18 予備費	100,000	0	100,000	0	慶弔費ほか
小計	3,224,000	2,814,593	3,750,000	-436,000	
特別積立金	1 終身会費基金	0	200,000	-200,000	定期預金
2 事業基金	0	0	200,000	-200,000	普通・定期預金
小計	0	0	400,000	-400,000	
当期支出合計	3,224,000	2,814,593	4,150,000	-836,000	
繰越金	1,501,900	2,023,447	923,290	578,610	
支出合計	4,825,900	4,838,040	5,083,290	-257,390	

II 特別会計

科目	平成28年度予算	27年度決算額	27年度予算額	差額	備考
1 終身会費基金	1,511,836	1,511,836	1,511,232	0	定期預金
2 事業基金	1,300,483	1,300,483	1,300,000	0	定期・普通預金
資産合計	2,812,319	2,812,319	2,811,232	0	

利息加算額

II 基金会計

科目	平成27年度決算		平成27年度決算	
	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部
一般会計より	400,000	0	一般会計繰入	0
ゆうちょ利息	483			
みずほ利息	289			
前期繰越金	2,811,547	2,812,319	次期繰越金	2,812,319
合計	2,812,319	2,812,319		
内訳				
終身会費基金	1,511,836			みずほ銀行
事業基金	1,300,483			ゆうちょ銀行

財産目録 (平成28年3月31日現在)

I 一般会計

1 預貯金

番号	金融機関・支店名等	記号・口座番号等	種別	残高	備考
1	みずほ銀行東京中央支店	8558615	普通預金	1,308,839	
2	ゆうちょ銀行振替口座	00130-8-121744	普通預金	195,000	
3	みずほ銀行東京中央支店	8558615	定期預金	500,428	
			預金総額	2,004,267	

2 現金

番号	管理・保管先	種別	残高	備考
1	現金①	財務室	6,688	
2	現金②	事務局	12,492	
		現金総額	19,180	
		預金・現金合計	2,023,447	

3 工具器具備品

番号	科目	機器名	数量	金額	備考
1	工具器具備品	電話FAX機	1台	367,500	平成25年1月11日購入

4 負債

II 特別会計

基金会計

番号	金融機関・支店名等	記号・口座番号等	種別	残高	備考
1	みずほ銀行東京中央支店	6404921	定期預金	1,511,836	
2	ゆうちょ銀行	10120-54569161	普通預金	300,013	
			定期貯金	1,000,470	

基金会計合計 2,812,319

平成27年度決算書 (平成27年4月1日~平成28年3月31日)

I 一般会計

1 収入の部

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備考
1 年会費収入	1,520,000	1,294,000	226,000	
2 通(送)年度年会費収入	12,000	24,000	△12,000	
3 終身会費収入	160,000	160,000	0	
4 懇親会費収入	630,000	511,000	119,000	
小計	2,322,000	1,989,000	333,000	
1 広告収入	320,000	310,000	10,000	
2 寄付収入	100,000	149,662	△49,662	
3 受取利息	363	451	△88	
4 雑収入	200,000	248,000	△48,000	
小計	620,363	708,113	△87,750	
当期収入合計	2,942,363	2,697,113	245,250	
繰越金	2,140,927	2,140,927	0	
収入合計	5,083,290	4,838,040	245,250	

2 支出の部

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	備考	
1 会報作成印刷費	320,000	267,408	52,592	6月と11月の2回発行	
2 会報発送費	550,000	494,221	55,779		
3 総会・懇親会費用	800,000	854,666	△54,666	総会・懇親会の料理・飲み物・会場費・講師・ファッショントーク・総会案内・振込用紙印刷	
4 卒業生祝賀会費	550,000	568,596	△18,596		
5 ホームページ維持費等	400,000	228,960	171,040		
6 通信費	100,000	96,445	3,555		
7 消耗品費	5,000	18,273	△13,273		
8 事務用品費	70,000	78,870	△8,870		
9 その他印刷費	350,000	0	350,000		
10 交通費	10,000	0	10,000		
11 雑費	10,000	5,292	4,708		
12 総務委員会事業費	15,000	2,971	12,029		
13 企画委員会事業費	40,000	4,000	36,000		
14 広報委員会事業費	110,000	40,000	70,000		
15 広報委員会事業費	80,000	16,749	63,251		
16 青年部委員会事業費	50,000	0	50,000		
17 渉外費	200,000	138,142	61,858		
18 予備費	100,000	0	100,000		
小計	3,760,000	2,814,593	945,407		
1 終身会費基金	200,000	0	200,000		
2 特定事業基金	200,000	0	200,000		
小計	400,000	0	400,000		
当期支出合計	4,160,000	2,814,593	1,345,407		
繰越金	1 次期繰越金	923,290	2,023,447	△1,100,157	財産目録参照
支出合計	5,083,290	4,838,040	245,250		

(注) 終身会員数124名、年会員数1,710名、会員総数1,834名

県政改革について

成果を出す行政

上田清司 埼玉県知事

定期総会第2部で、埼玉県知事として県政改革に成果を上げられた上田清司氏にご講演頂きました。就任以来取り組んでいる県政改革に当たっては、「虫の目、鳥の目、魚の目」を持つことが如何に重要であるかを、具体例を挙げて語って頂きました。

行政文化

「行政文化」という言葉があります。どんな言葉が余程ムキにならない限り難しいのではないかと、思います。その証拠に、赤字が苦になりません。真面目にやっていること、千百兆円からの赤字を国が積み重ねていますし、埼玉県も私が就任するまでは、赤字になれば如何に黒字にするかという努力をします。真面目にやっているというだけではなかなか通用しないわけです。こういう課題があります。構造的に難しい問題があると思っています。

赤字削減とGDP

私が就任する時点で臨時財政特例債等を除く県で発行をコントロールできる県債は2兆5千億円ほどでしたが、今は2兆円ほどになっており、19・4兆を12年間で減らしました。真面目にコソコソやっているから、何となく景気の悪い県かというところ、今年6月に内閣府が作った47都道府県別の平成15年から25年までの11年間の名目GDP増額の順位を



加額の順位を昭和60年、犯罪件数で6

上田知事略歴
昭和46年法政大学法学部を卒業。早稲田大学大学院に学び、衆議院議員を経て平成15年8月、埼玉県知事に当選。現在4期目。

虫の目

何故こんな事ができるかと申し上げると、先程、役所の文化というところを申し上げましたが、これまでは、基本的にみんなが「虫の目」になっていたのです。鳥の目と魚の目がないのです。真面目にコソコソやっているから、単年度でおられるが、単年度でおられるか、何となく景気の悪い県かというところ、今年6月に内閣府が作った47都道府県別の平成15年から25年までの11年間の名目GDP増額の順位を昭和60年、犯罪件数で6

魚の目

例えば治安だけ見ると、埼玉県の治安が良くないということはある程度分かっています。一応向こう20年分ぐらゐのグラフを作ったんですけど、そうすると、昭和60年、犯罪件数で6

いるわけですね。虫の目で終わりがちな行政を、鳥の目や魚の目で見るようにしていくと、ことごとく見えてくるのです。

民間パトロール

埼玉県の警察官は、一人で700人見なくてはならない。全国の平均は一人520人です。埼玉県警と言いつつ警察官の定数管理は総務大臣の権限。警察庁と相談しながら割り合っている。総務大臣に会ったり、警察庁長官に会ってお願いをして、この10年ぐらゐで日本一増員を獲得した。ことだけは事実です。それでもまだ一人当りの負担が630人。全国の平均では490人位になっています。

仕事をしているか

47都道府県で、1万人に対して何人で仕事をしているかというのをグラフにしたら、一番少ないのが埼玉県で11人です。一番多いのが51人。こういうことがわかるわけです。各県で作っていいば、自分のところのレベルがすぐ分かるのです。これがまさに鳥の目なのです。上の方から俯瞰してみれば、すぐ見えてくるのです。

高校中退率と

高校の中退率は埼玉は下から2番目でした。ロータークラブをお願いして、体験学習をやって貰うようにしました。これにより人生のなかで必要なことや自分の価値も見えてきて、あつという間に12位まで上がってきました。

中学校の不登校

高校の中退率は埼玉は下から2番目でした。ロータークラブをお願いして、体験学習をやって貰うようにしました。これにより人生のなかで必要なことや自分の価値も見えてきて、あつという間に12位まで上がってきました。

鳥の目

例えばトンビは、くると舞いながら、下にいるネズミを捕った方が良く、兎を捕った方が良く、考えるわけです。兎の方が獲物は大きいけれども穴に近く、逃げ込まれる可能性が高いなと。しょうがないネズミで我慢するかとか、他との比較をしながら事実をしっかりと見る。まさに俯瞰をしながら物事を見て

19945年からの日本の人口推移を見ると、2008年をピークに減少傾向に転じていますが、実は日本全体の15歳から65歳未満までの生産年齢人口のピークというのは1995年です。1995年に8700万人で2015年には7600万人になって、1100万人、働き手の中核が減っている。生産性は一定程度近代化されると極端に差はつきません。GDPは労働力掛ける生産性ですから、労働力の多いところがGDPを伸ばしていく。生産性が同じであれば、労働力が減る分、女性が増えなくていいけない。

盛り沢山の話題で懇親会開かれる

平成28年度定期総会第3部・懇親会



上野精養軒で開かれた定期総会第3部・懇親会には、参加者で溢れるばかりの盛況でした。司会は梶尾信禎理事と蜂谷和弘理事が担当しました。五明理事長から、講演をして頂いた上田清司知事と留学生スピーチのりーさんに対する謝辞があり、校友会の副会長に指名されたことなどの抱負が語られ、開会の挨拶がありました。

19945年からの日本の人口推移を見ると、2008年をピークに減少傾向に転じていますが、実は日本全体の15歳から65歳未満までの生産年齢人口のピークというのは1995年です。1995年に8700万人で2015年には7600万人になって、1100万人、働き手の中核が減っている。生産性は一定程度近代化されると極端に差はつきません。GDPは労働力掛ける生産性ですから、労働力の多いところがGDPを伸ばしていく。生産性が同じであれば、労働力が減る分、女性が増えなくていいけない。

上野精養軒で開かれた定期総会第3部・懇親会には、参加者で溢れるばかりの盛況でした。司会は梶尾信禎理事と蜂谷和弘理事が担当しました。五明理事長から、講演をして頂いた上田清司知事と留学生スピーチのりーさんに対する謝辞があり、校友会の副会長に指名されたことなどの抱負が語られ、開会の挨拶がありました。

創立20周年記念事業概要

事務局長 齊藤友嘉

法学部同窓会は、平成29年度に創立20周年を迎えます。その記念事業として企画されているのは、寄付講座の開催、創立20周年記念誌の刊行、会員名簿の改訂、記念式典等です。

寄付講座は、法学部同窓会が資金を負担して、在學生に授業を提供するものです。授業の概要は現在検討中ですが、企業・団体の法務部の実務を学ぶものとなる見込みです。

すなわち、我が国は、社会の成熟、複雑多様化

が進展するに伴い、個人、企業・団体を取り巻く権利義務関係も一層複雑精密化しつつあります。そこで、社会における法の支配の必要性が益々高まり、あらゆる個人、企業・団体において、法律の適用ないし活用によって、紛争の未然防止、適正かつ迅速な解決が要請されているところと見られます。企業・団体に設けられた法務部は、近年、その重要性が認識され、活動も充実化しつつあります。このような法務部が取り扱う課題について、具体的に即して学習して貰うことを想定しています。

寄付講座は、平成29年度の秋学期から開講することを目指しており、年間約70万円の費用がかかる見込みです。そこで、会員の皆様には、年会費の納入はもとより、創立20周年記念事業に際しての寄付金と記念誌への広告に是非協力賜りますようお願い致します。

記念式典は、平成29年6月24日(土)に挙行することを予定しており、その際には、寄付講座の授業を担当する講師、在學生、法学部教授等の参加するパネルディスカッションなども検討中です。

創立20周年記念事業へのお願い

創立20周年記念事業実行委員会 募金委員会委員長 下西 孝

法学部同窓会の皆様には、ご健勝で日々御活躍のこととお慶び申し上げます。

法学部同窓会は、皆様

の多大なるご支援を頂き、来年2017年に創立20周年を迎えます。

この機会に、皆様へお願いいたします。

- 1 募集種類
 - (a) 寄付金 1口 3,000円
 - (b) 名刺広告 1枚 10,000円
- 2 振込先口座

みずほ銀行 東京中央支店(普通) 8558615
法政大学法学部同窓会
- 3 連絡・問合せ先

この会報第1面、題字の右肩の枠内にある「事務局」宛にお願いします。

理事会

だより

平成28年5月以降の理事会では、定期総会の準備、創立20周年記念事業への取り組み、寄付講座の準備等について、協議してまいりました。定期総会は、去る7月16日(土)、上野精養軒において無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

○創立20周年記念事業への取り組みについては、次第に授業の内容が明確化しつつあり、企業・団体の法務部への取組が開始されました。6月から実際に募集の要領等について協議し、6月より実際に募集活動を開始しました。企業・団体と個人・同窓会員に分けて募集してまいります。企業業績は、来年度の開講の準備等について、協議してまいります。定期総会は、去る7月16日(土)、上野精養軒において無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

○創立20周年記念事業への取り組みについては、次第に授業の内容が明確化しつつあり、企業・団体の法務部への取組が開始されました。6月から実際に募集の要領等について協議し、6月より実際に募集活動を開始しました。企業・団体と個人・同窓会員に分けて募集してまいります。企業業績は、来年度の開講の準備等について、協議してまいります。定期総会は、去る7月16日(土)、上野精養軒において無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

創立20周年記念誌の原稿募集

法学部同窓会創立20周年記念事業として、創立20周年を祝うと共に、創立から現在までの歩みを振り返り、会員の親睦と大学・法学部の発展と学生への支援を目的とする同窓会の更なる発展と充実を目指す「記念誌」を発行することになりました。

法学部同窓会創立20周年記念事業として、創立20周年を祝うと共に、創立から現在までの歩みを振り返り、会員の親睦と大学・法学部の発展と学生への支援を目的とする同窓会の更なる発展と充実を目指す「記念誌」を発行することになりました。

1 事務局宛にEメールで送信する。
2 事務局宛に郵送する。

3 法学部同窓会ホームページの「公報」会員往来に投稿する。このページに、原稿ファイルと写真(5Mまで)を添付して送ることができます。

原稿締切日 2017年3月31日(金)です。

締切日以後に到着した原稿は、同年11月発行予定の会報35号に掲載させていただきます。

ゲート棟オープン



外濠側から見たゲート棟

大規模工事が完了しました。新しくなったゲート棟がオープンしました。構内の外濠側には巨大なゲートがあり、ゲートがオープンしました。構内の外濠側には巨大なゲートがあり、ゲートがオープンしました。

会員名簿への掲載

創立20周年を記念して「会員名簿」を作成します。前回作成後、約5年が経過し、かなりの変更が生じていますので、作成することになりました。重々お願いいたします。

名簿に掲載を望まない方は、事務局までご連絡下さい。連絡先は、この会報題字の右欄に掲載されています。

中村司法書士事務所
〒109-0033 東京都新宿区百人町一丁目三三番二階
TEL 03(3337)1778 大和ビル四階

中村 眞一

法政大学評議員
法政大学校友会監事

山崎 正俊

〒100-0077 東京都千代田区神田一丁目八番九号
電話 03(3223)3501 福田ビル五階

山崎 孝子

〒100-0003 東京都千代田区九段北4-1-15
市ヶ谷法曹ビル809 大家孝子法律事務所
電話 03(3262)7141

小林 清宣

法政大学理事
法政大学校友会副会長

〒100-0003 千葉県花見川区幕張本郷1-13-11801
電話 043(274)7988

山崎 雅彦

法政大学法曹会事務局局長
法政大学法科大学院教授

〒100-0002 東京都千代田区飯田橋二丁目一六八号
トリアビル二〇二号 山崎雅彦法律事務所
電話 03(3321)6322

山崎 友嘉

法政大学法学部同窓会 事務局長
弁護士

〒100-0001 東京都中央区銀座7-15-15
共同ビル401号室
電話 03(3543)1341
FAX 03(3543)1343

石川 公也

常務理事
〒100-0001 東京都中央区新富一丁目四番六号
電話 03(3355)5228

後藤 陸

昭和53年3月 法学部政治学科卒
むつみ合同司法書士事務所(司法書士 後藤事務所)
簡裁訴訟代理関係業務認定 第204100号
〒171-0021 東京都豊島区西池袋二丁目25番11号
電話 03(3398)4555
FAX 03(3398)4555
03(3398)4555
03(3398)4555

大古 久塔

中華料理
〒100-0003 千代田区富士見二丁目十一番一十六
電話 03(3234)5736
JR飯田橋駅西口近く 元警察病院裏

大古 久塔

母校の帰りにはヘルシー料理で

URL: http://www.gou-office.com

母校の帰りにはヘルシー料理で

母校の帰りにはヘルシー料理で